

第31回 今 野 賞

(令和 3 年度)

募 集 要 項

「第31回今野賞」の応募の受け付けを行います。今野賞は、宮城県の特別支援教育の振興を図るため設けられました。設立から31年目を迎え、教育賞として高い評価を得ています。

本募集要項をご覧の上、関係各位には推薦について格別のご協力とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

公 益 信 託

今野芳雄記念宮城県心身障害児教育振興基金

1 今野賞の目的

障害のある子供たちの教育は、一人一人に応じた支援が必要とされています。特別支援学校や、小・中学校などの特別支援学級や通常の学級などで、現在障害のある子供たちの指導の充実を図ることが求められています。

「今野賞」は特別支援教育現場で、意欲的に研究に励み、創意あふれる指導を行い、優れた業績をあげている教育者を広く県内から選び、その功績の顕彰及び研究を助成することにより、現場で指導にあたる人々の励みとし、創造性豊かな教育環境が一層進むことを目的としています。

2 募集部門・募集対象

募 集 部 門	募 集 対 象
A 功績者顕彰（推薦） 特別支援教育に意欲的に取り組み、優れた学校経営、学習指導、研究を行うなど、その振興に顕著な貢献をされた方、又は、団体及び研究会を顕彰します。	・ 県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者(高等学校を含む)、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者。 ・ 団体及び研究会。
B 若手指導者育成（推薦） 特別支援教育では、障害のある子供たちの社会参加と社会自立を図るため、障害の状態等に応じて教育内容や方法を工夫していくことが求められています。 こうした課題解決に、熱意をもって努力してきた40歳未満の方の具体的な実践例を期待します。	・ 40歳(令和4年3月31日現在)未満の方。 ・ 県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者(高等学校を含む)、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者。
C 課題研究助成（推薦） 特別支援教育が抱えている緊急で、今日的課題を解決するための専門性の高い研究を計画・実践をしてきた40歳以上の方、又は、団体及び研究会に対し助成します。特に、創意と工夫にあふれ、この教育の発展に役立つ実践例を期待します。	・ 40歳(令和4年3月31日現在)以上の方。 ・ 県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者(高等学校を含む)、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者。(課題研究実施時に担当していれば可。) ・ 団体及び研究会。
D 通常の学級における実践研究助成（推薦） 通常の学級において、学びにくさや不適応状態を示す子供たちの存在がクローズアップされています。このような子供たちを含めた通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子供たちに対する指導等に関する実践研究をしている方、又は団体及び研究会に助成します。通常の学級担任の方やそれを支援している特別支援学級担任等の具体的な実践例を期待します。	・ 県内小・中学校の通常の学級担任。 ・ 通常の学級を支援する特別支援学級担任。 ・ 通級による指導の担当者(高等学校を含む)及び特別支援教育の指導者。 ・ 団体及び研究会。

- ・ 今野賞の目的に鑑み、上記B部門、C部門、D部門は重複して応募できません。
- ・ 昨年度受賞（入賞を除く）された方は、本年度応募できません。
- ・ 昨年度入賞された方については、入賞論文を再構成して応募すること、又は別の論文を応募することができます。

3 応募方法

(1) 推薦の方法

- ・所属長又は関係機関が推薦者となります。
- ・様式1（推薦票）に必要事項を記入してください。

(2) 提出書類及び留意点

募集部門	提出書類	留意点
A 功績者顕彰	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・功績を証明する資料 【形式自由】	・団体及び研究会の場合は代表者名をもって記入してください。
B 若手指導者育成 D 通常の学級における実践研究助成	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・応募者自身による実践論文 A 4判で形式自由。ただし、資料を含め10ページ以内。1,000字以内の要約文を添付のこと。 【以上、厳守のこと】	・実践論文は、過去3年以内にまとめたもので、発表・未発表は問いません。ただし、大学や県総合教育センター等の研修に伴うものは除きます。 ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。承諾を得た旨を本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・応募された論文は返却いたしません。
C 課題研究助成	・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・応募者自身による研究計画・実践論文 形式及び要約文はB・D部門に準ずる。	・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。承諾を得た旨を本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・応募された論文は返却いたしません。

(3) 送 付 先 等

- ・提出書類一式を以下の送付先へ郵送願います。
- ・論文と要約文は、その電子データ（ワード、一太郎）もメールに添付して提出願います。
- ・送付先：宮城教育大学附属特別支援学校長 あて（担当者：教頭 遠藤 亮一）

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉395-2

T E L 022-214-3353

F A X 022-214-3362

E-mail tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

(4) 応 募 締 切 令和3年10月29日（金）必着

4 審 査

- (1) 応募方法に沿って提出されたものの中から、下記のとおり受賞者を選びます。

A 功績者顕彰	・若干数
B 若手指導者育成	・最優秀賞1件 ・優秀賞2件以内
C 課題研究助成	・最優秀賞1件 ・優秀賞1件
D 通常の学級における実践研究助成	・最優秀賞1件又は優秀賞2件以内

※ 上記のほか、全応募の中から入賞10件程度を選びます。

(2) 審査の観点

A 功績者顕彰	① 特別支援教育に著しい貢献をしたか ② 優れた学級経営、学習指導、研究を行ってきたか ③ 長年にわたり特別支援教育の振興・実践に努め、意欲的に取り組んできたか 団体及び研究会：30年以上の教育実践と県全体の特別支援教育振興への貢献（自主公開研究会等による研究実践の積み重ね、研修会等の継続的な実施による地域への貢献） 個人：10年以上にわたる意欲的な教育実践と優れた学校経営、学習指導、研究の積み重ね
B 若手指導者育成 C 課題研究助成 D 通常の学級における実践研究助成	① 目標・内容・方法が的確にとらえられているか ② 研究・実践に実証性・独創性があるか ③ 研究・実践の成果や課題が明確になっているか ④ 論文の構成及び叙述が適切か

5 助成金の金額

A 功績者顕彰

2 件 × 5 万円程度

B 若手指導者育成

最優秀賞 1 件 × 10 万円

優 秀 賞 2 件以内 × 5 万円

C 課題研究助成

最優秀賞 1 件 × 10 万円

優 秀 賞 1 件 × 5 万円

D 通常の学級における実践研究助成

最優秀賞 1 件×10万円 又は 優秀賞 2 件× 5 万円以内

上記のほか、全応募から入賞10件程度× 2 万円

6 発表と表彰

- ・受賞者は、令和 4 年 1 月15日までに本人又は代表者に通知します。
- ・表彰式は、令和 4 年 2 月上旬に行う予定です。その席上で賞状と目録をお贈りします。表彰式の日程や場所等については、受賞の通知書に記載します。

7 選 考 委 員

黒 田 章	元宮城県特別支援学校長会長
辻 誠 一	東北福祉大学教授 元宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部長 元宮城県特別支援教育センター所長
澁 谷 榮 昭	元宮城県教育庁特別支援教育室長 元宮城県立光明支援学校長
赤 間 宏	元宮城県特別支援教育研究会言語障害・発達障害教育専門部長 元仙台市教育局学校教育部特別支援教育課長
菅 井 裕 行	宮城教育大学教職大学院教授
高 田 淑 子	宮城県特別支援教育研究会長 宮城教育大学附属特別支援学校長
原 新太郎	仙台市小学校教育研究会特別支援教育研究会副会長 仙台市立木町通小学校長
白 倉 彩枝子	宮城県特別支援学級設置学校長協議会副会長 今野賞担当 気仙沼市立津谷小学校長
柳 沼 裕	宮城県特別支援学校長会 今野賞担当 宮城県立西多賀支援学校長

渡 部 智 之 仙台市中学校教育研究会特別支援教育研究会長
仙台市立館中学校長
杉 浦 誠一郎 宮城県教育庁特別支援教育課副参事(班長)
三 浦 潤 子 仙台市教育委員会特別支援教育課主幹

8 今野賞のホームページ <https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

今野賞

応募要項、受賞者一覧（最優秀賞並びに優秀賞論文を含む）
を掲載しています。

クリックして下さい

今野賞のお問い合わせは

〒980-0811 仙台市青葉区一番町三丁目1-1

仙台ファーストタワービル7階

みずほ信託銀行仙台支店内

「今野賞運営委員会」係

担当 佐藤 郁恵

布田 智恵子

TEL 022-225-7692

FAX 022-264-2664

「今野賞」受賞者（平成29年度～令和2年度）

年度	部門	賞	氏 名	学校名・団体名	題 名
平成 29 年	A		な し		
	B		な し		
	C	入	藤野 美紀	宮城県立利府支援学校	知的障害特別支援学校児童の登下校の場所における挨拶の力を高めるための指導の一試み ー認知・行動特性を生かした安心できる環境作りに基づく指導の工夫を通してー
	D		な し		
平成 30 年	A	該当	杉 肇子 (代表者)	仙台市立 鶴谷特別支援学校	
	B	最優	佐野 仁美	女川町立女川小学校	肢体不自由を持つAさんが通常学級で共に学ぶための支援の工夫 ー体力・学力の向上、交友関係の充実化に向けた学びやすい環境づくりの工夫を通してー
	C	優	澁谷 潤	仙台市立 鶴谷特別支援学校中部	生徒の主体的な活動を促すための試み ～教材教具の工夫を通して～
		優	大坂 聡	宮城県立角田支援学校	Aさんのワーキングメモリーの変容とその検証 ーWISC-IV下位検査項目の教材化と検査数値の分析を通してー
		入	都澤 真理	宮城県立支援学校 岩沼高等学園川崎キャンパス	過度に不安がるHさんが自主的に自己表現する指導 ～リフレーミングと適度な関わりを通して（playからstudyそしてLifeへ）～
		入	村上 智洋	仙台市立五城中学校	「興奮しやすい生徒に対する支援の一試み」 ～ABA（応用行動分析学）とSST（ソーシャルスキルトレーニング）を活用して
	D		な し		

年度	部門	賞	氏 名	学校名・団体名	題 名
令和 元 年	A		な し		
	B	優	佐藤 友宙	仙台市立 鶴谷特別支援学校	学校生活におけるルールを身に付けさせるための 試み ー絵・写真カードの活用ー
	C	優	佐々木由美	加美町立広原小学校	重度難聴・知的障害のAさんが伝え合う力を育み、 人と関わりながら学校生活を送ることを目指して ～公立小学校での自立活動を中心とした教育課 程の工夫を通して～
		優	大越 貞人	宮城県蔵王高等学校	生徒および保護者からの特別の教育的ニーズに応 えるための試み ～全日制高等学校の進級による指導（自校通級） について～
	D	優	海部 裕美	宮城県蔵王高等学校	コミュニケーションに課題を持つ高校生への通級 による指導の一試み ～生徒の思いを反映した個別の指導計画の作成と 目標達成に向けて～
令和 2 年	新型コロナウイルス禍のため、募集中止				

【賞の欄】最優：最優秀賞 優：優秀賞 入：入賞

第31回 今野賞推薦

部 門	A 功 績 者 顕 彰	B 若 手 指 導 者 育 成	C 課 題 研 究 助 成	D 通 常 の 学 級 に お け る 実 践 研 究 助 成
題 名	(功績者の場合、記入しなくてもよい。)			
本人の職氏名	職	フリガナ 氏名	昭和 平成	年 月 日生 (歳)
本人の勤務校の所在地、名称	〒 TEL			
推薦理由 推薦者の職氏名	職	氏名		印

- ・該当する部門の記号を○で囲んでください。
- ・年齢は令和4年3月31日現在で記入してください。

様式 2

経 歴 書

フリ 氏 ガナ 名
昭和 年 平成 月 日生

現 住 所

年 月 日	経 歴 事 項

- 〈記入について〉
- 最終学歴とそれ以降の職歴、研修歴、受賞関係を記入してください。
 - Bの若手指導者育成又は、Dの実践研究助成への応募者で、実践論文を既に発表している場合は、発表年月日と発表の場を最終欄に記入してください。

